

## UNIT 16 LIAISON

### 16.1 Key learning areas

- ・連結音とは connected speech における音の付け加えかどうかを確かめる。
- ・連結音の意図されないルールを見つける。
- ・linking /r/ と剰音の/r/の相違点を特定する。

### 16.2 Introduction

語と語をつなげるとき、連結した話し方をする場合、音素は消される。この過程は「音脱落」と言われる。ここでは、連結した話し方をする時に音素がどのように付け加えられるのかみていく。

### 16.3 The problem of adjacent vowels

多くの言語では隣接して母音を置くことは好まれない。この状態を母音接続と呼ぶ。英語での母音接続を説明する主要な変化は、連結音“liaison”として知られている音素の追加である。

### 16.4 /r/ liaison

non-rhotic accent の英語で、二つの母音の間にもっともよく使用される音は /r/ である。

#### Exercise 16.1

a) non-rhotic accent で話される場合の次の言葉を描写する。

car	more	fear
/kɑ/	/mɔ/	/fiə/

b) car aerial	more or less	fear of it
/kɑr æriəl/	/mɔr ə les/	/fiər əv it/

### 16.5 Linking /r/

語の終りが母音で、それが母音で始まる語に続く時、/r/がその語の間に入れられる。これは non-rhotic accents でこの位置で /r/ がなくなる前に、これらの語に発生する /r/ の再挿入のようである。

重要なことは、linking /r/ は任意的なものだということ、主に速くカジュアルに話す時に起こるが、話し手によっては代わりに[?]を使うので linking /r/ が避けられうる。しかしながら対照的に、同じ変化が決まった場所で語にも発生する。この現象の一般的な例は、進行形の接尾辞‘-ing’が<r>と<re>で終わる語に付け加えられる時である。つまり、non-rhotic speakers は‘bore’を /bɔ/と発音するが、‘boring’は /bɔrɪŋ/と発音する。

### 16.6 Intrusive /r/

今までの例ではスペルに<r>や<re>があり、そういうわけで、たとえ /r/ が今 non-rhotic speakers の間でなくなっても、分離して話される時に /r/ を含んでいた。しかし、スペルに<r>がなくても連結音は派

生ずる。言いかえると、分離して話される時には、/r/ は含まれず、この変化を剰音の /r/ と呼ぶ。

### Exercise 16.2

- a)      gnaw                      baa                      saw  
           / nɔ /                      / bɑ /                      / sɔ /
- b)      gnaw a bone              baa of a sheep              saw a plank  
           / nɔr ə bæʊn /              / bɑr əv ə ʃi:p /              / sɔr ə plæŋk /

linking /r/ のように剰音の /r/ は任意の変化である。しかし、剰音の /r/ は非難されることがあり、新聞編集者に対する苦情のブログ投稿や手紙を引き起こす。例えば ‘law and order’ は ‘Laura Norder’ や ‘law ran order’ のように聞こえる。それにもかかわらず、剰音の /r/ は大半の英語話者が使う発音の典型的な特徴で、発音とスペルの違いについて私たちに他のリマインダーとして役立っている。

### 16.7 Conditions for /r/-liaison

要約すると linking と instrudrive /r/ は両方とも /r/ 連結音のタイプである。それによって /r/ は二つの他の隣接した母音を区別するために加えられる。しかしながら、/r/ 連結音を導く母音はどんなタイプのものかによって状況ははるかに変わってくるので、描写するのは簡単ではない。

### Exercise 16.3

- a)      cherry and chocolate              banana and toffee              mango and honey  
           /tʃeri ən tʃɒt /                      / bænənər ən tɒfi /                      / mæŋ ɡəʊ ən hʌni /
- paw paw and yogurt              pear and sugar  
           / pɔ pɔr ən jʊ ɡət /                      / peər ən ʃʌ ɡət /
- b)      /r/- liaison      banana and toffee      paw paw and yogurt      pear and sugar
- no liaison      cherry and chocolate      mango and honey

liaison が発生する語はすべて、高くない母音か、あるいは中心の二重母音で終わるものである。Liaison が発生しない語は、高い母音か、二重母音で終わるものである。つまり、/r/-liaison についてまとめると、最初の語が高くない母音で終わり、次の語が母音で始まる。もし最初の語のスペルに <r> があるならば、linking /r/ の変化をし、正書法の <r> がなかったら、剰音の /r/ の変化をする。

### 16.8 /r/-liaison and rhoticity

Non-rhotic accents が剰音と linking /r/ を使うことはわかったが、しかし、rhotic speakes にはどちらの過程も適応されない。まず、rhotic speakers は語のスペルに <r> があるときだけ /r/ を発音するので剰音の /r/ は

存在しない。次にスペルに<r>がある語は分離している時でも、/r/ で発音される。

### 16.9 Potential meaning confusion

私たちが unit15 で見たように、連結した話し方の変化は音素領域での変化として考えられ、したがって、理解される意味に影響する可能性がある。

#### Exercise 16.4

- a) “ Did you see her ashes? ” どの語彙に /r/ が付属しているかによって意味が変わる。  
b) ‘ equest ’ なのか ‘ request ’ なのか。  
売っているものが乗馬の服ということで、前者の方が妥当といえる。

### 16.10 Newer liaison forms

多くの若い話者は二つの適当な母音が隣接している時、/r/ の代わりに glottal stop を入れる。

### 16.11 Other types of liaison in English

英語の主な連結音は /r/-連結音であるが、他のタイプもある。

#### Exercise 16.5

- ・母音で始まる名詞には ‘an’ を使い、それ以外には ‘a’ を使う。
- ・しかし ‘u’ で始まる名詞には注意が必要。(例) ‘unicorn’ → /j/ で始まる。

#### Exercise 16.6

‘ the ’ 子音の前は /ðə/、母音の前は /ði/

ape	monkey	orange	pear	ant	spider
/ði/	/ðə/	/ði/	/ðə/	/ði/	/ðə/

### 16.12 Elision and liaison

音脱落と連結音は相互作用することが可能である。例えば、‘ or her sister ’ は /ɔ hə sɪstə/ や /h/ を省いて /ɔ ə sɪstə/ や、あるいは /h/ の省略と linking /r/ で /ɔ r ə sɪstə/ と発音される。Linking /r/ の条件が存在しない時（発話中で隣接した二つの母音が存在しない時）、/h/ が省略されない限り linking /r/ で発音することができない。これは連結した話し方のための意図されないルールがあることを示している。つまり、/h/ の省略は最初に示され、linking /r/ が起こる t まえの条件を提供している。

### 16.13 Summary

分離した語で発音しない音は、もしその正しい条件が存在ならば、連結した話し方をするときには発音される。とくに、/r/ が英語の non-rhotic accents で隣接した母音を区別するために加えられる。これは /r/-liaison と呼ばれる。語のスペルに /r/ があるとき、私たちは linking /r/ の過程をとり、一方で正書法で<r>がないならば剰音 /r/ が適応される。